

令和5年度 八代市立第一中学校 学校関係者評価

《自己評價基準》 A：目標達成率90%以上 B：70%以上90%未滿 C：50%以上70%未滿 D：50%未滿

評価の適正については、以下の判定基準を参考に記入いただいた。

◎：十分適正 ○：おおむね適正 △：課題あり ×：課題が多く、至急改善

項 目		具体的評価の観点 〔 4:よい 3:だいたいよい 2:もう少し 1:要改善 0:回答できない 〕	1 学期末		2 学期末		評価の適正に対する学校関係評価者の判定及び意見等										
			目標達成率	自己評価 項目別評価	目標達成率	自己評価 項目別評価	評価者①	評価者②	評価者③	評価者④	評価者⑤	評価者⑥	評価者⑦	評価者⑧	評価者⑨	評価者⑩	意見等
豊かな心の育成	1	一人一人の存在の尊さ・大切さを考えさせる命の教育を推進したか	95%	A	95%	A											・1,3,7の項目は、特に社会生活の充実に直結すると思います。指導の積み重ねと徹底が望めます。中学生の清掃指導はどのように行われているのですか。 ・生徒会活動の熱心さではありますが、一人一人の意識まではまだまだのようですね。やつしスピリッツの徹底は充分にできているようだ。 ・評価するにあたって、もう少し資料がほしいです。 ・生徒の頑張りを校内放送や全校集会の中で全生徒へ紹介していただいているとお聞きしています。そういった取組で生徒たちがやる気が出るとの声を直接聞いており今後も継続していただきたい。 ・自転車の乗り方を指導してほしい。道いっぱいに広がっていることを見かける。 ・教職員の取組がよくできた。 ・中学生時代は「自分によいところがある」という自己肯定感をもつことはなかなか難しい面があるなかで、一人一人に目を配りながらよい点を見つけて「認め」「褒め」「励まし」「伸ばす」言葉かけが学校全体の取組として実施されていることを実感します。また、学校に来るのが難しい生徒への対応についても、家庭と連携を取り合い「学校に登校しなくてもつながっていける」「安心できる」一人一人の心に寄り添った指導がなされていることも実感します。引き続きの取り組みをお願いいたします。 ・掃除をする心が磨かれるので注力していただきたいです。 ・授業参観の際、廊下を歩いて気がついたことで整理整頓がきちんと掃除も隅々までちゃんとできていて気持ちよかったです。
	2	どう行動すべきか生徒自身に考えさせる生徒指導ができたか	86%	B	93%	A											
	3	生徒一人一人をしっかりと見つめ、よい点（頑張っている点）を認め・褒め・励まし・伸ばす声かけができたか	89%	B	93%	A											
	4	生徒自らが課題を見つけ解消に向けた取組を工夫する生徒会活動が行えたか	77%	B	72%	B	B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	5	生徒一人一人の心の状況把握に努め、家庭との連携を図り、生徒に寄り添った迅速な対応が行えたか	98%	A	91%	A											
	6	「やつしろスピリッツ」を意識し、徹底した取組ができたか	84%	B	78%	B											
	7	生徒が積極的に取り組む掃除指導ができたか	73%	B	73%	B											
確かな学力の育成 努力	8	「学び合い」の時間に関して、その意義を生徒に語り込むとともに、生徒たちの活動状況をしっかりと見とり、生徒の活動意欲を高める言葉かけを行ったか	75%	B	68%	C											・授業公開は素晴らしいことです。が、なかなか難しいですね。公開授業ということは、見に行くときにクラスは自習ということですね。 ・生徒の学ぶ意欲が少しずつ出てきているように感じます。スマホ利用の制限も含めて再検討、保護者から家庭教育にも力を入れてもらえるといいと思う。 ・生徒も定刻に教室に入り、学び合いを通じて、互いの学力向上に繋がっていると感じています。次年度もぜひ継続していただき、生徒の自主性を高めてもらえたらと思います。 ・学力の向上ばかりに気にする必要はないと思う。 ・授業参観を通じて、先生たちの工夫されたスタイルによる授業が展開されていました。多様な中での授業研究、教材研究がなされていることを実感しました。今年度の学校経営目標である「みんなが安心して笑顔で過ごせる学校」のもと、確かな学力の育成に向けて授業改善の取組、「学び合い」の充実に向けて、学年・学期ごとの課題を洗い出し、改善点を見出しながら組織的に取り組んでおられる成果が各学力調査の数値にも表れていると思います。学校長のリーダーシップのもと、先生方の日々の努力の賜物であると強く実感します。今後は学校と家庭が連携し、家庭学習の充実への取組が必要ではないかと思います。 ・課題の一つである学力向上、次年度も引き続き取り組んでいただきたいです。 ・授業の様子も全体的に落ち着いて寝ている姿も一人だった。
	9	学習内容がわからず苦しんでいる生徒に対して、具体的な手立て・取組を工夫して積極的に行うことができたか	68%	C	79%	B											
	10	教師の話す時間を短くし生徒の活動の場・時間を多くするなど生徒の側（学ぶ側）に立った授業改善が実践できたか	75%	B	71%	B											
	11	積極的に授業公開をし、授業改善に努めたか	23%	D	40%	D	C	○	○	○	○	○	△	○	○	○	
	12	多様な考えに触れさせ、自らの考えを高める授業実践ができたか	65%	C	74%	B											
	13	家庭学習習慣の定着のために、「見とり」を確実にし、認め・褒め・励ますコメント（声かけ）等を行うことにより、生徒の意欲向上を図りながら家庭学習の充実に向けた取組を行ったか	77%	B	78%	B											
	14	タブレット端末の活用を心がけ、授業や家庭学習等において生徒一人一人が活用する場面をできるだけ多く設定したか	58%	C	52%	C											
15	生徒一人一人の状況に配慮した授業が実践できたか	75%	B	86%	B												
健康な体の育成	16	規則正しい生活リズムの定着のための指導を家庭と連携して繰り返し行ったか	74%	B	86%	B											・早ね、早起き、朝ごはん、生活習慣の見直しも含めて規則正しい生活リズムの徹底を繰り返してってください。 ・お弁当の日に何を作るか生徒が楽しみにしていました。 ・部活動は限られた時間で人間力の向上、各種技量の向上がみられ、大変感謝しております。 ・「早ね・早起き・朝ごはん」の習慣化のため、早寝や早起きの時間を具体的に示しながら家庭の協力を得る必要があると思います。また、部活動運営について顧問と保護者の連絡や関係を密にしながら、部活動のやり過ぎや勝利至上主義の考え方をせず適正に運営していただきたいと思っています。 ・SNSの使用・ルールについて、保護者向けの研修・勉強会も必要だと感じました。 ・団体行動（体育祭等）の時、スムーズに連携できて成果が見えた。
	17	生徒を事故・けがから守るため、繰り返し注意喚起を行い環境整備に努めたか	91%	A	91%	A											
	18	健康・食に関する必要な情報を伝え、生徒が健康な生活を送れるよう努めたか	93%	A	84%	B	B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	19	災害が起きたとき、適切に行動できるよう生徒を指導できたか	90%	A	91%	A											
	20	「はばたけ代っ子」～中学校部活動の指針～に沿って、生徒の主体性を伸ばす部活動指導を行ったか	93%	A	90%	A											
信頼される学校づくり	21	失敗を責めず、カバーし合い働きやすい職員集団づくりに努めたか	87%	B	94%	A											・21,22はB→Aへと評価が上がっており、良い傾向と思います。学校全体が優しい雰囲気だと感じます。ありがとうございます。 ・生徒への言葉かけ、生徒同士の言葉かけ（心優しい言葉）をすすめてくれたらうれしいです。まだまだ心ない言葉かけがあるように思う。よろしく願います。 ・生徒の個性に配慮した集団づくりという難しいことが多いと思いますが、地域、学校が連携していけるとよいと思います。 ・毎朝校長先生を初め多くの先生方に見守られながら、生徒たちは登校する中で自ら笑顔で挨拶できるようになったと感じております。このようなことで信頼関係が構築されていき、不登校の生徒も減少したと思っています。 ・学校と地域の連携がよかったと思う。 ・教育活動の情報発信や問題の説明責任を果たす取組や、地域との協働を通じて、信頼される学校づくりに取り組んでください。 ・先生から生徒への積極的な挨拶、声かけが印象的でした。 ・朝登校時、小学校正門であいさつ運動をしているとき、中学生にも声をかけるとちゃんと挨拶を返してくれたし、自分からも挨拶をしてくれました。
	22	生徒への挨拶・声かけ等生徒から信頼されるような言動に努めたか	89%	B	94%	A											
	23	保護者、地域の声を真摯に受け止め、連携して教育活動を行うよう努めたか	93%	A	93%	A											
	24	対話や通信等により、教育活動の情報をこまめに発信したか	77%	B	73%	B	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	25	報告・連絡・相談を適切に行い、組織としての対応を心がけたか	91%	A	98%	A											
	26	日々の学習指導（授業）の状況や生徒の状況及び対応した事案に関して、記録を残しているか	84%	B	87%	B											
	27	不祥事防止に努めたか	96%	A	100%	A											